

氏名	森 実 真
授与した学位	博 士
専攻分野の名称	医 学
学位授与番号	博甲第 3296 号
学位授与の日付	平成18年12月31日
学位授与の要件	医歯学総合研究科病態制御科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)
学位論文題目	The role of CD4 and CD8 cytotoxic T lymphocytes in the formation of viral vesicles (ウイルス性水疱の形成におけるCD4陽性細胞傷害性T細胞とCD8陽性細胞傷害性T細胞の役割)
論文審査委員	教授 山田 雅夫 教授 中山 睿一 助教授 近藤 英作

学位論文内容の要旨

単純疱疹，帯状疱疹，水痘と種痘様水疱症は中心臍窩を伴う小水疱を特徴とし，皮疹の臨床像・組織像は極めて類似している。これらのウイルス性水疱の形成における病態を解析するためウイルス抗原の存在と浸潤細胞について検討を行った。種痘様水疱症の水疱部では Epstein-Barr Virus-encoded nuclear RNA 陽性細胞が検出された。ウイルス水疱部に浸潤しているリンパ球はほとんどが T 細胞であり，そのうちの 10～30%が細胞傷害分子である granzyme B と granulysin を発現していた。さらに CD マーカーと細胞傷害分子の二重染色を行い共焦点レーザー顕微鏡で観察したところ，CD4 陽性 T 細胞，CD8 陽性 T 細胞の両方が細胞傷害分子を発現していた。ウイルス性水疱部の形成にはウイルス感染細胞に対する CD4 陽性細胞傷害性 T 細胞と CD8 陽性細胞傷害性 T 細胞の反応が重要であることが示唆された。

論文審査結果の要旨

本研究は，ウイルス性水疱の形成における病態の解析を目的としたものである。本研究では，中心臍窩を伴う小水疱を特徴とし，皮疹の臨床像・組織像が極めて類似する，単純疱疹，帯状疱疹，水痘，種痘様水疱症の4つのウイルス性水疱の病巣部の生検材料について，原因となるヘルペスウイルス抗原等と浸潤細胞の性状を解析したものである。その結果，種痘様水疱症の水疱部では，Epstein-Barr virus-encoded nuclear RNA 陽性細胞が検出されること，ウイルス水疱部に浸潤しているリンパ球はほとんどが T 細胞であり，そのうち 10-30%が細胞障害分子である granzyme B と granulysin を発現していること，さらに二重染色により，CD4 陽性 T 細胞 CD8 陽性 T 細胞の両方が細胞障害分子を発現していることを示したものである。これらの結果は，従来知見の乏しかったウイルス性水疱の形成における病態について，水疱の形成にはウイルス感染細胞に対する CD4 陽性細胞障害性 T 細胞と CD8 陽性細胞障害性 T 細胞の反応が重要であることを示唆する価値ある業績であると認める。

よって，本研究者は博士（医学）の学位を得る資格があると認める。